

## 武部

控えめというか、お国自慢が不得手ですね。下関が一番なんてあまり言わない。港町という寄り合い所帯という面もあるのでは。港町で栄えていたのが通過都市になってしまい、手をこまねいて、何をしてくれるのかって、他力に頼ってしまっただけでしょうね。

## 石山

昔は美術館を使って一般の人に無償で初級講座をしていました。中級講座になると、美術館友の会に入って、もっと深く関わってもらっていました。

美術館というと敷居が高いつてイメージがあるけど、初めて美術を始めたいと思う人にも身近に感じて欲しいですね。

## 市民が希望を持ち夢をかなえる町に

### 前田市長

政治のスタイルはどんどん変わり、これからは最初から最後まで公金で賄っていくことはできません。やる気のある方を応援する、「スタートアップ」に力を入れたいですね。新しく会社(事業)を起こしたい人たちに、最初のきっかけづくりをしてあげたいと考えています。

このまちから生まれて、成長していく。例えば、その会社が、すごく大きく成長して、だけど、根

っこの部分は下関にあるっていう。

福岡市は大手企業の誘致に目もくれずにスタートアップ事業として若い人たちにバンバン投資しています。そうすると、若い人たちが集まって、街が活性化します。

企業だけでなく、文化や農業、水産など、下関もそういう方向に切り替えてく必要があると思います。

石山先生が言われたように、新しく芸術を始めたいっていう人がいれば応援したい。起業に関係するスタートアップばかりではなく、そういったことにも目を向けたいですね。

## 石山

そうしたときに一番大切なのは、教える側の資質なんですよ。これがとても大切なんだと思います。

指導する側の責任を明確化して、責任を持って指導して欲しいですね。

## 和仁

学校の先生は教育指導要領があるから、なかなか難しいでしょうね。

それに、「かくあるべし」がビジネスの場合はダメだろうね。

## 安富

以前、県の事業「平成の松下村塾」で三世代交流講座の講師を務めたことがあります。

参加者は実際に歴史が起こった場所に行ったり、専門の

人に話を聞いたりするんですよ。

その中で下関出身のある少年と話しました。誰に刺激を受けたかと聞くと、伊藤博文、杉孫七郎と言っています。この二人は、あの時代、既に海外に目を向け、世界を見るため海外に渡ったんです。

その少年に「志は何ですか」って聞いてみたくです。





すると、少年は「外交官を目指しています」と。高杉晋作の長男・東一が外交官であったこともあり、ものすごくうれしかったですね。

彼は市が主催の、小・中学生の海外派遣にも行き、実際、海外に行って、言葉が通じない、これは勉強しないといけないって頑張っているのです。志を持って生きるきっかけを得たのですね。

次世代を担う若者に外の世界を見せる事は大切ですね。きっかけは大人が作ってあげ、機会を与えさえすれば若者は外国に目を向ける事ができるいい例ですね。

### 五十嵐

瀧廉太郎ゆかりの地である大分県竹田市で行われる瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールは、昭和28年に大分県内の高校生を対象に始まり、回を重ねながら、九州、西日本、全国と広がり、今や声楽家を志す高校生の登竜門にもなっています。

私の生徒も山口県代表として何度も参加させていただきましたが、志を高く持って世界に羽ばたく人材が多く生まれています。

野々村さんもこのコンクールで2位を受賞し、副賞でウィーン短期留学をしたんですよ。

また、通常、コンクールに出場するには参加費が必要ですが、このコンクールは参加費と三日間の滞在費が無料なんです。市が負担

しているそうです。

ですが、出場に伴って全国からこの町に集まる参加者の家族や指導者、そして観客の宿泊、観光、滞在費などが町に入るんです。町の魅力に惹かれ、再度、観光で訪れる人も多そうです。

小さな町なのに、まちぐるみで瀧廉太郎を誇りに思い、コンクールを盛り上げるってとっても素敵なことですよ。

### 武部

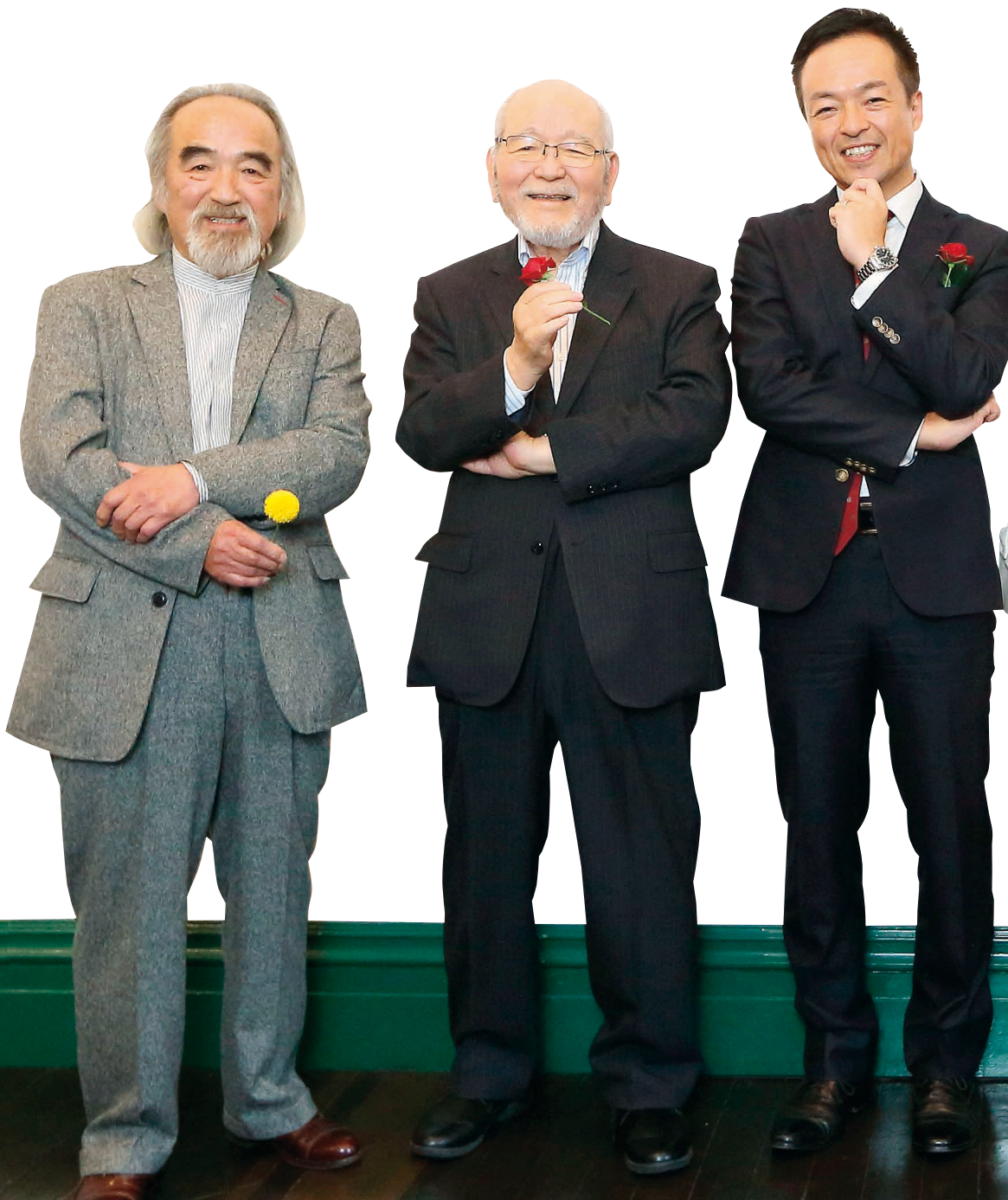
下関も全国的に有名な先人がいるから、全国に呼びかけるくらいのマーケットを広げられたら、たくさんの方が知ってくれるんだけどね。

### 前田市長

下関には多くの歴史があり、多くの偉人がいます。近代先人顕彰館には、田中絹代さんの遺品などが展示してあり、素晴らしいのですが、下関には顕彰したい人がたくさんいる、飽和状態なんですね。

今、あるかばーと開発が進んでいます。下関の文化と歴史と食を堪能できる地区にしたいと思っています。その中に、先人を顕彰できるとか、歴史を堪能できるとか、もし、施設を造っていいのならそれを実現したいですね。

話は尽きませんが、本日は各分



野で第一線を担う方々の貴重なお話を聞かせていただき、未来へのヒントをいただきました。下関には恵まれた環境があり、それを活用して未来を輝かせてまいります。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。